大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）

2026年 第47週（11月16日～11月22日）

今週のコメント

～RSウイルス感染症 ～　咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「RSウイルス感染症　増加」

第47週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,370例であり、前週比8.7%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.52、1.83、1.15、0.31、0.28である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比8%増の627例で、北河内5.36、中河内5.22、南河内5.00、大阪市南部4.82、豊能3.60であった。

RSウイルス感染症は24%増の325例で、北河内3.68、南河内2.62、三島2.24である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は3%増の204例で、中河内2.22、南河内1.77、北河内1.73であった。

手足口病は7%減の55例で、北河内0.82、大阪市南部0.41、泉州・大阪市西部0.30である。

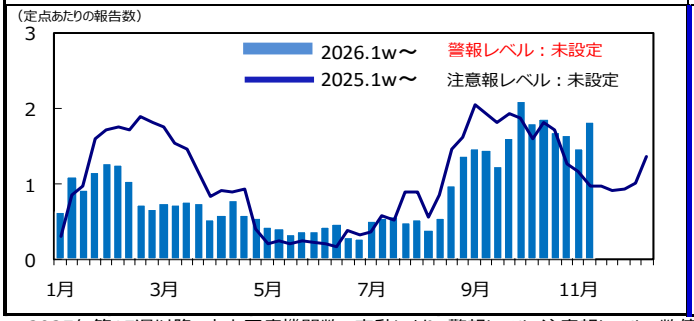
咽頭結膜熱は22%増の50例で、北河内0.68、南河内0.62、大阪市北部0.31であった。

インフルエンザは7%増の2,060例で、定点あたり報告数は7.30である。大阪市西部10.33、泉州9.64、南河内8.76、北河内8.50、大阪市北部7.80であった。

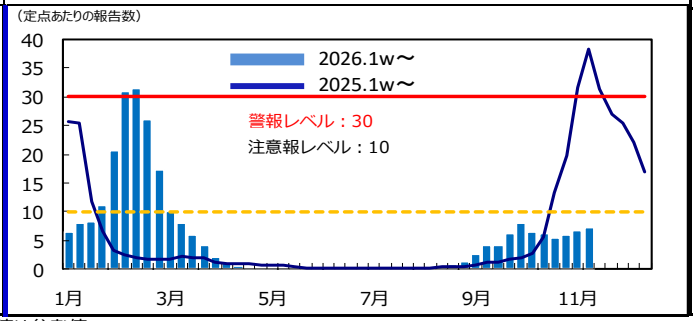
新型コロナウイルス感染症は31%増の123例で、定点あたり報告数は0.44である。南河内0.86、大阪市東部0.84、大阪市西部0.73、泉州0.52、堺市0.48であった。

急性呼吸器感染症（ARI）は5%増の12,798例、定点あたり報告数は45.38である。南河内63.24、北河内56.58、中河内52.50、大阪市西部50.73、豊能48.66であった。

ＲＳウイルス感染症



インフルエンザ



※2025年第15週以降、定点医療機関数の変動により、警報レベル・注意報レベルの数値は参考値

表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2026年 第47週11月16日～11月22日）

第47週の順位	第46週の順位	感染症	2026年第47週の定点あたり報告数	前週比増減	2025年第47週の定点あたり報告数	2026年第47週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	3.52	8%増	3.15	１歳_17%
2	2	RSウイルス感染症	1.83	24%増	0.98	１歳_32%
3	3	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.15	3%増	1.70	10-14歳_19%
4	4	手足口病	0.31	7%減	0.08	１歳,２歳_31%
5	7	咽頭結膜熱	0.28	22%増	0.36	１歳,２歳_28%
参考		インフルエンザ（急性呼吸器感染症定点報告疾患）	7.30	7%増	38.01	20歳以上_33%
参考		新型コロナウイルス感染症（急性呼吸器感染症定点報告疾患）	0.44	31%増	1.00	50-59歳_19%
参考		急性呼吸器感染症（ARI）（急性呼吸器感染症定点報告疾患）	45.38	5%増	66.65	1-4歳_34%

各疾患の詳細は、大阪府感染症情報センターホームページ（定点把握疾患、疾患別情報、病原体検出情報 ）をご覧ください。

第47週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉･食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋において、腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加するが、2026年は秋以降も報告数が多いことから、引き続き注意が必要である。

腸管出血性大腸菌感染症（国立健康危機管理研究機構）
腸管出血性大腸菌感染症（大阪健康安全基盤研究所）

年別累積報告数(大阪府)

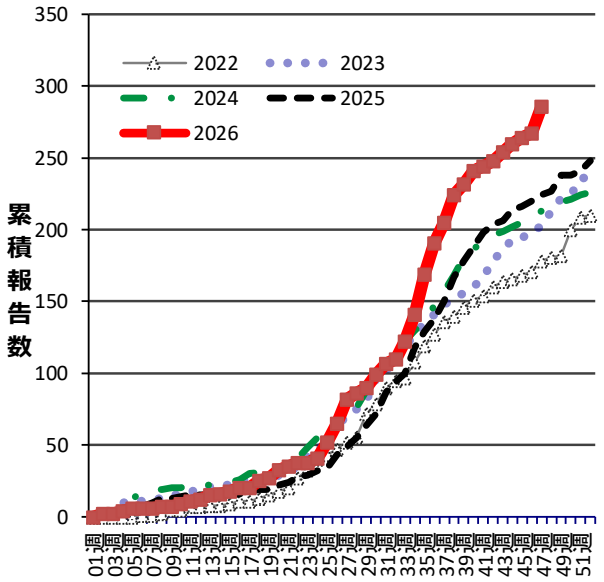


表２．大阪府全数報告数（2026年 第47週11月16日～11月22日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】> 全数把握疾患　をご覧ください。)

	疾患名 （ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**19**		8		1			7	3	286
４類感染症	**つつが虫病**	**1**								1	2
	レジオネラ症	**5**	1							4	166
	レプトスピラ症	**1**		1							1
５類感染症	**カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**	**3**			1				1	1	87
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	**2**		1						1	73
	後天性免疫不全症候群	**2**							1	1	67
	侵襲性肺炎球菌感染症	**3**		1		2					207
	多剤耐性緑膿菌感染症	**1**		1							36
	梅毒	**5**	1						1	3	1,146
	百日咳	**2**								2	255
結核 （2026年9月分）	**結核　新登録患者数：82名**　（内　肺･喀痰塗抹陽性　24名） （府内累積報告数　814名、内　肺･喀痰塗抹陽性　245名）										

（2026年11月24日　集計分）